横浜天声キリスト教会　週報　第18巻34号（No.706）　2023年8月20日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ローマ12:2 ・・・・・・・・　御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9番　聖なる、聖なる、聖なるかな
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・ 37番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174番　神の息よ
礼拝のための祈り　・・・・・・・ 成田エクレシア：史 執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 466番　いずこにありても
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・ 主にあって不可能は可能へ塗り替えられる人生観(2コリント3:16-18)
御言葉を適用する祈り　・・ 会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 393番　われらの戦い血によらず
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り　・・・・・・・・ パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 今週、韓国にて開催されるテフィリンフェスティバルに、天声から合計9名参加します。そして晴子・朋江親子は韓国での2ヶ月のトレーニングに入り、林・川合牧師は付添い・働きのため、帰国は9/2になります。それぞれの祝福のためにお祈りください。
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

主は霊である。そして、主の霊のあるところには、自由がある。____はみな、顔おおいなしに、主の栄光を鏡に映すように見つつ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。これは霊なる主の働きによるのである。(2コリント3:16−18)

____よ。そういうわけで、神のあわれみによって____に勧める。____のからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。それが、____のなすべき霊的な礼拝である。(ローマ12:1)

この世の鋳型にはめ込まれてはいけません。かえって____は、何が神の御心か、すなわち、何が良いことで神に喜ばれ完全かを識別するために、____の「思い」の刷新によって、「変えられ続けていきなさい」。』(ローマ12:2)

メッセージ概要

今年は反転の年、メタモルフォーの年として、2コリント3:16-18の御言葉が与えられた。メタモルフォーは「反転、逆転、変貌、反撃、覆し、ひっくり返し」などの意味があるが、一年の半ばが過ぎて、既にそれを体験した聖徒がおり、あるいは今その真っ只中を通過中の聖徒もいる。福音書に記されている「イエス様にあっての反転」は、死からいのちへの反転であり、罪から義への反転、汚れから清さへの反転、病から健やかさへの反転、弱さから強さへの反転、貧しい者から富む者への反転、呪いから祝福への反転など、すべて「良い」方向への反転である。主は今も生きておられるゆえに、その「反転」は、今の私達も当然、経験できる事であり、すべて反転を経験した人がした事は、「**信じた**」、あるいは「**お言葉どおりに行動した**」事である。たとえ信じ切れていなかったとしても、お言葉どおり行動したら、本当に主の言われた通りになった。

主にあって「impossible（不可能）」は「I'm Possible（私には可能だ）」に変わる(Iにユッド'がつく)。もし今、目の前に諸々の「impossible」が押し寄せて来ているとするなら、それは主にあって「I'm Possible」になるという事を、主が教えておられるからではないだろうか。Possibleにするのは、私ではなくキリストであり、これからの全ての事は主にあって全て「可能」へと塗り替えられるのだ、という思考パターンが、既定の思考パターンになるために。 もし今、目の前に「impossible」が来ているとするなら、もう、そこに到達できる段階にまで成長しているのだから、あとは信仰の一歩を踏み出して、経験しなさい、という事ではないだろうか。

今まで人生で培ってきた思い込みや固定概念といった「バリヤ」を破る必要がある、と思うだろうか。思い込みのバリヤは、自分では容易に破れるものではないが、唯一、簡単に「取り除かれる」方法がある。

『*しかし**主に向く時**には、その覆いは取り除かれる。主は霊である。そして、主の霊のあるところには、自由がある。私達は皆、顔覆いなしに、主の栄光を鏡に映すように見つつ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に「変えられていく（メタモルフォー）」。これは霊なる主の働きによるのである。*』(2コリント3:16-18)

この箇所には、「メタモルフォー」を体験するまでの手順が書かれている。 まずは「**1，主に向く**」。すると、「**2，覆い（バリヤ）は取り除かれる**」。すると「**3，主の霊が働く**」。主の霊のあるところには、自由があり、主の栄光を鏡に映すように見ながら、「**4，栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく（メタモルフォー）**」。

だから、私達の側で真っ先にすべきは、思いの覆いから視線を反らし、主へと向く事。そうするなら、主の霊が来て、覆いが取り除かれる。主の霊が来るなら自由になり、心晴れやかで平安な感覚が来るのだ。

風がある日に、籾殻を空中に放り投げると、全く散り散りバラバラになってしまうが、そのように、主の霊（風、息吹）が臨むなら、自分のそれまでの意固地な感情、悲しさ、卑屈さ、恐れ、不安、絶望といった、主のものでない感覚は、ちりぢりばらばらにされる。そして主から、心の奥底から沸き起こる愛が、それも、「わたしの子よ！」という、主からの愛に溢れた感覚に圧倒され、自分は神の子にされた！という確信を得て、全く不安がなくなってしまう。実際、使徒行伝において、主の霊が臨んだ弟子たちは皆、驚くような働きをするようになった。 イエス様に招かれ、イエス様に建て上げられて行くからには、立ちはだかるものが、たとえ巨人であっても、あるいは、どんな病、貧困、不可能に思える事であろうと、その立ちはだかるものを、打ち倒し、全く平安の内に導かれていく。イエス様が、平安の息を吹きかけられたからだ。

気をつけるべきは、世が吹きかけてくる、真理とは別物の「鋳型」である。その鋳型に、「思い」がはめ込まれてしまうとするなら、主にあって「可能」なものでも、「不可能」に思えてしまう。『***この世の鋳型にはめ込まれてはいけません**。かえって、あなたがたは、何が神の御心か、すなわち、何が良いことで神に喜ばれ完全かを**識別**するために、**自分の「思い（ヌース）」の刷新**によって、「**変えられ続けていきなさい**（メタモルフォーの現在受動態命令形）」。』(ローマ12:2　ギリシャ語新約聖書インタリニア)

サウル王やその家来たちは、巨人が投げかけてきた言葉の「鋳型」にはめ込まれ、なぶられっぱなしだったが、ダビデは一心に主を見続けていたため、巨人を石ころ一つでダウンさせた。彼は、主の陣が40日もなぶられっぱなしだった事に対し、聖なる憤りに充満されたため、恐れは一切なかった。主の霊が臨まれるなら、恐れも不安も粉微塵に飛ばされ、主の栄光を表す働きをするようになるのだ。

今までのあらゆる古い覆いが取り除かれ、あらゆる方面で反転を経験して行く皆様でありますように！
イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	礼拝 11:30
English Service	14:30

日々の集会

月～金　早天祈祷会	5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会	13:00～
火～木　夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 34 号　　2023 年 8 月 20 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp